

## 10月のテーマ 「植物の香りを生活に活かす」

目的 人々は体験から得た知恵を積み重ねて、現在も受け継がれていることを学ぶ。

（ 香りは、植物にとって生き延びるための重要な武器 ）

疑問

- ① 森林の中には、動物の死がいや枯れた木などがあるにもかかわらず、さわやかな空気が広がっているのは、なぜ！
- ② 森林（カラムツ・杉・檜・松等）の根元にあまり草木が生えていないのは、なぜ！
- ③ 野原や山で遊ぶと肉体的には疲れるのに、さわやかな気分になれるのは、なぜ！

### ◎ 葉から出された香り成分（揮発性化学物質）

★森の中の空気を浄化したり、悪臭を消す働きをしている。（消臭作用・脱臭作用）

★自分の周囲の植物を成長阻害して自分の成長を守ったり、昆虫や動物に葉や幹を食べられないようにしている。同じ樹木同士がお互いに香り成分で助け合っている。昆虫や微生物を誘ったり阻害したり、病害菌に対して殺虫、殺菌して感染しないようにしている。

★人に対して、香りが自律神経の安定に効果的で、肝機能を改善したり、快適な睡眠をもたらし、リフレッシュ効果がある研究報告知られている。（森林浴・アロマセラピー等）

### ◎ 古来から活かされる植物不思議な力

☆ 年間を通じて香る樹木 \*今回は、葉を中心に香りを体験（もむことで香りさらに強くなる樹木もある） ☆ マツ・カヤ・スギ・ヒノキ・クロモジ・サンショウ・クスノキ・ニッキ・コクサギ・ゴマギ・シキミ・ユズ・ミカン類（注意：同じ植物でも季節で香りの強さが異なる）

樹木の香り＝揮発性の化学物質 ★この化学物質に何か秘密があるのか？

### ◎ 植物の香りは、冷凍技術が発達していなかった時代の工夫（昔の人々の知恵）

- ① お寿司屋・・・ガラスケースの中にササの葉やサワラの葉が敷いてある。カウンターはヒノキ板が使われている。ワサビ・ショウガ・お茶にもはたらきがある。
- ② お弁当・・・経木で食品をつつみ、おにぎりの中に梅干しを入れた。
- ③ 桜餅・柏餅・ササ寿司・鰯寿司・カキの葉寿司に使用する葉は飾りではない。
- ④季節の行事・・・ショウブ湯・ユズ湯などをお湯に浮かべリラックス効果。

★①～③は、（防腐効果・抗菌作用） ④は（鎮静効果）※経木は杉や檜を薄く削った物）

### ◎ 葉や木の実の種皮に含まれている化学物質（昔の人々の知恵）

★香りが強い種子、ムクロジの種皮にサポニンが含まれよく泡立ち石けんになる。

★建物や風呂桶・水桶・酒樽等、様々所で香りがある木を使用（防虫効果）（抗菌効果）

※ヒノキやスギで建てた家には4～5年は虫がつかないと言われている。

～香りの揮発性化学物質や樹木に含まれる化学物質～

★食品への防腐、殺菌・部屋や浴室のカビ、家ダニなどへの防虫にも効果がある。

★抗菌作用は、人体に影響を与える病原菌にも有効であり、天然物質だから人体に安全で副作用の影響も少ないと考えられている。

観察1 植物の香りを感じてみよう（匂いは感情を入れない、香りは感情を含む時に使う）



### ◎ クロモジの木が活かされていることを調べた

縄文時代（岩手の御所の遺跡の周辺にもたくさん生育）から利用されていたとガイドの説明を聞いた。

☆ 歯磨きの習慣 ☆ 信仰とともに清潔にすることから行われたようで、仏教伝来とともに、僧侶や公家などの上流階級が身を清める儀式として始めたようです。江戸時代になると歯木として房楊枝へと形を変えて商品化された。この房楊枝には3つの働きがあった。ブラシ状の部分（歯磨き）、反対側で（歯のすき間掃除）、柄のカーブの部分（舌をこすって掃除）



江戸時代の房楊枝を再現



★ 黒文字の活用（鎮静効果・リラックス効果・抗菌効果・免疫効果の成分が含まれている）

海外ではスパイスブッシュと呼ばれている。日本では、北海道を除く全国の山地に生育・クロモジ油（アロマ）、香料や化粧品として輸出（伊豆に記録あり）・石けん・お茶・ウオッカの酒の中へ・漢方や生薬（養命酒にも使用）・線香・クロモジご飯・ミルクティー・茶席（マイ楊枝持参する人も）、切りたてが最上級とされ、甘くさわやかな香りで和菓子を食べる時の高級つまようじ（作業でわかったこと、クロモジは乾燥が早く固くなるため、採取した日に加工しないと素人は大変！）

◎ おもてなし体験 ◎（日本のおもてなしは、目配り・気配り・心配り）お客様を気持ちよい空間でもてなすことが第一で、お客様の好みに合わせて対応を変えることが大切（差別ではない）。美意識をもって五感で対応！ 見栄え！心地よい香り！素朴な味！和菓子を皿に盛りつけ方が大切

実際に使用できる楊枝を事前に制作（子供たちの家族分）・袋は折り紙で柄も工夫・同じ規格を目指して 400 本以上ナイフで削ったが材料と自分の未熟さで残念！実際に使う体験を期待！



◎ 気配りでお守り作り（柏の年輪）



◎ 模擬刃でナイフの使い方指導

危ないからと避けないで！正しい扱い方、同時に怖さを知ることによって丁寧で慎重な作業が身につく、よいものができる、道具の便利さを知れる。ケガは切れないナイフで余力な力、基本を無視した動作が原因

